

～歯と口の健康週間(6/4～10)～
「おいしい」と「元気」を支える 丈夫な歯

市内小学生が歯と口の健康づくり

【歯と口の健康週間と、学校歯科保健活動について】

毎年6月4日～10日は「歯と口の健康週間」として、厚生労働省・文部科学省・日本歯科医師会が1958年から実施している週間です。穴吹医療大学校（校長：中添和代）歯科衛生学科の学生が、それにちなんで、県内の小学校で「学校歯科保健活動」を実施します。

全国各地で各歯科医師会が独自に啓発イベント等を展開している中、成長期にある子ども達が、学年ごとの段階にあわせた指導を、歯科衛生士の卵（やさしいお姉さん）から楽しく、分かりやすく受けられます。教室は笑顔であふれ、子ども達は、自分の歯と口から通じる健康づくりを、自分の意思で（自律的に）行おうと変化する成長の一瞬がみることができます。

<実施団体>

穴吹医療大学校 歯科衛生学科1・2年生 52名

<実施日時・対象>

各クラス45分ずつ指導していきます。

- ① 平成30年5月25日（金） 10：15～11：55
丸亀市立飯山南小学校（丸亀市飯山町上法軍寺1206）
- ② 平成30年5月29日（火） 9：25～11：20
綾川町立昭和小学校（綾歌郡綾川町畑田2373-1）
- ③ 平成30年6月1日（金） 9：35～11：20
香川大学附属坂出小学校（坂出市文京町2丁目4-2）
- ④ 平成30年6月5日（火） 9：30～12：10
坂出市立坂出小学校（坂出市白金町1丁目3-7）

<実施内容>

- ・小学生が見て目をひく大きな歯のオリジナルの手作り模型による歯磨き指導
- ・歯肉炎や歯周病、デンタルフロスの使い方紹介 など



イメージ写真

【参考】

●歯と口の健康週間の目的（日本歯科医師会 HP より）

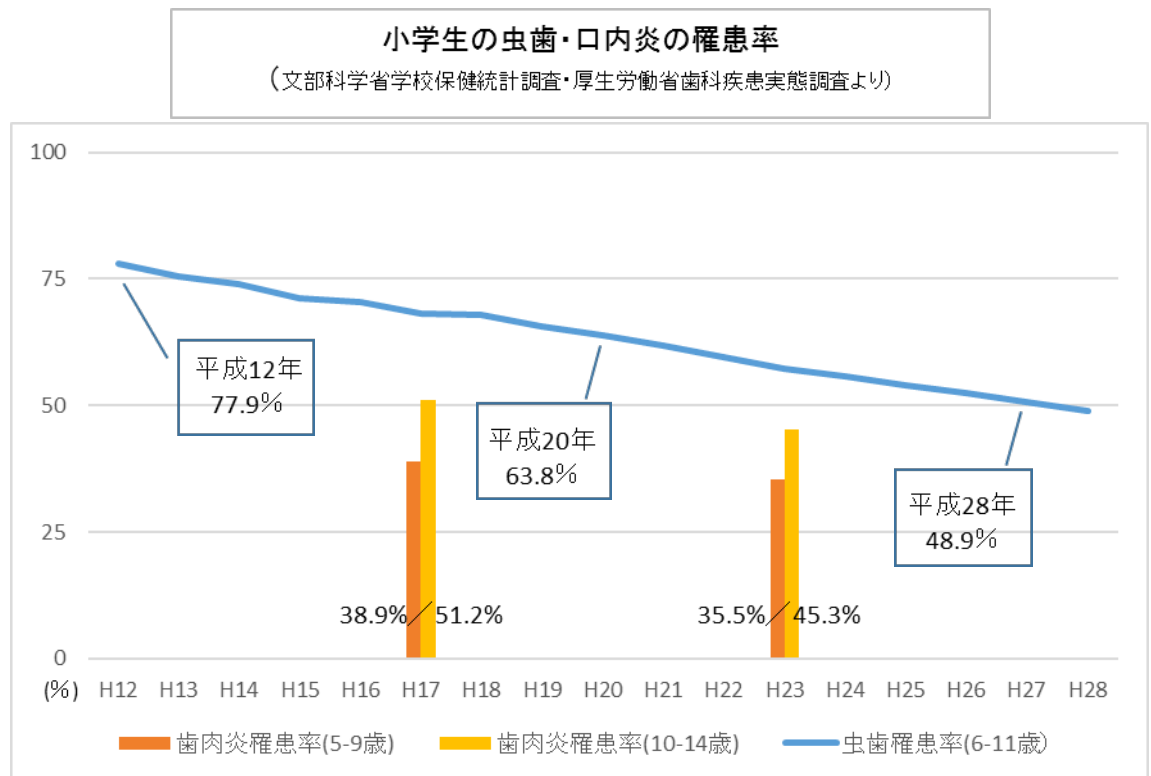
この週間は、歯と口の健康に関する正しい知識を国民に対して普及啓発するとともに、歯科疾患の予防に関する適切な習慣の定着を図り、併せてその早期発見及び早期治療等を徹底することにより歯の寿命を延ばし、もって国民の健康の保持増進に寄与することを目的とする。

●「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり（文部科学省 HP より）

学校における歯科保健においては、う歯の予防を中心に取組が行われ、大きな成果をあげてきました。しかしながら、近年の子どもの現状を踏まえると、咀嚼など口腔機能の未発達や口腔の疾病の増加、食育の重要性などが指摘されており、その指導や対策についても、今後、一層の充実が求められています。このため、学校保健法等の改正及び学習指導要領の改訂等を踏まえ、平成16年8月に作成した『「生きる力」をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり』を改訂されています。

●小学生のむし歯罹患率の低下。および、歯肉炎罹患率

地域や学校での歯科保健指導活動の普及効果があるのでは？と考えています。



【問い合わせ先】

高松市錦町1-22-23

学校法人穴吹学園

穴吹医療大学校

歯科衛生学科 横井・木村

087-823-5700